



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 東急建設株式会社

コード番号 1720 URL <http://www.tokyu-cnst.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 飯塚 恒生

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長

(氏名) 中村 伸之

TEL 03(5466)5061

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	167,681	4.6	5,691	88.1	5,789	107.6	6,732	166.4
22年3月期第3四半期	160,371	△6.2	3,025	124.8	2,789	192.8	2,526	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	63.07	—
22年3月期第3四半期	23.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	154,010	33,582	21.8	314.10
22年3月期	162,893	27,936	17.1	261.35

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 33,529百万円 22年3月期 27,899百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

23年3月期の期末配当につきましては未定です。

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	252,000	6.5	4,900	△7.2	4,800	△2.3	1,200	△36.9	11.24

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、 除外 一社（社名 ）

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期3Q	106,761,205株	22年3月期	106,761,205株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	13,911株	22年3月期	11,312株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期3Q	106,748,467株	22年3月期3Q	106,750,089株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 23年3月期の期末配当につきましては、経営環境の先行きが依然として不透明であることに加え、第4四半期に計上を見込んでいる退職給付制度改定に伴う特別損失額が、今後の年金資産の運用状況等により変動する可能性がありますこと等から、現時点では未定とさせていただきます。今後、業績等を勘案した上で、配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに公表する予定です。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	9
(1) 個別受注の概況(建設事業)	9
(2) その他	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気対策や新興国経済の成長を背景に企業収益が改善する一方で、個人消費が低迷する等、景気は足踏み状態で推移いたしました。また、急激な円高やデフレの影響に加え、失業率は高水準にとどまる等、経済情勢は依然として厳しい状況が続いてまいりました。

建設業界におきましては、住宅の新規着工戸数は贈与税減税等の住宅取得支援策の効果等により回復基調にあるものの、企業の設備投資は依然として低水準であることに加え、公共投資は国・地方ともに減少する等、受注環境は引き続き厳しいものとなりました。

このような情勢下におきまして当社グループは、中期経営計画に基づき、安定的な受注の確保に向け、価値提案を念頭においた注力顧客へのアプローチ強化や東急グループ各社との連携強化による新規顧客開拓を推し進めるとともに、大型再開発プロジェクトや東急グループに対する営業展開の充実を図ってまいりました。また、協力会社との関係強化や集中調達の実施を推し進めることにより、工事原価や間接経費の削減に努める等、収益力を強化してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は167,681百万円(前年同四半期比4.6%増)、営業利益は5,691百万円(前年同四半期比88.1%増)、経常利益は5,789百万円(前年同四半期比107.6%増)を、それぞれ計上いたしました。これに、貸倒引当金戻入額817百万円や受取遅延損害金375百万円等を特別利益に計上し、特別損失や税金費用等を加味した結果、四半期純利益は6,732百万円(前年同四半期比166.4%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産の部につきましては、前連結会計年度末と比較して、現金預金が9,845百万円、未成工事支出金が4,862百万円それぞれ増加した一方、売上債権の回収が進み受取手形・完成工事未収入金等が20,269百万円減少しました。この結果、総資産は、前連結会計年度末から8,882百万円減少し、154,010百万円となりました。

負債の部につきましては、前連結会計年度末と比較して、預り金が3,008百万円増加した一方、支払手形・工事未払金等の仕入債務が10,391百万円、未成工事受入金が2,488百万円、短期借入金が1,998百万円それぞれ減少したこと等により、負債合計は14,528百万円減少し、120,428百万円となりました。

純資産の部につきましては、配当を640百万円実施したことにより利益剰余金が減少し、株式相場の影響によりその他有価証券評価差額金が461百万円減少した一方、四半期純利益を6,732百万円計上したこと等により、前連結会計年度末と比較して5,645百万円増加し、33,582百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、仕入債務の減少や未成工事支出金の増加等があったものの、売上債権の減少や税金等調整前四半期純利益の計上等により、11,939百万円の資金増加(前年同四半期は16,476百万円の資金増加)となりました。投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、有形及び無形固定資産の取得による支出や投資有価証券の取得による支出があったものの、長期貸付金の回収による収入や関係会社株式の売却による収入等により、780百万円の資金増加(前年同四半期は198百万円の資金減少)となりました。財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、短期借入金の減少や配当金の支払額等により2,791百万円の資金減少(前年同四半期は16,084百万円の資金減少)となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より9,845百万円増加し、23,371百万円(前年同四半期末残高は12,948百万円)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想は、平成22年11月8日の公表値から変更はありません。

わが国経済の今後の見通しにつきましては、政府の景気対策効果等を背景に、景気は緩やかに回復することが期待されますものの、円高や海外経済の下振れ懸念等、景気の下押しリスクが存在することから、先行きは不透明な状況が続くと思われま

す。建設業界におきましては、住宅着工戸数は減税等の効果により緩やかな回復が続くものと見込まれますが、公共投資は減少傾向であることに加え、企業の設備投資の本格的な回復にはなお時間を要すると思われま

すことから、受注環境は引き続き厳しいものと予想されます。当社グループにおきましては、このような状況に対処すべく、引き続き注力顧客へのアプローチ強化と新規顧客開拓の積極化を図り、安定的な受注の確保に向け取り組んでまいります他、コスト意識の徹底による工事原価の低減を図ることに加え、間接経費の厳格な支出管理を行う等、収益力を一層強化してまいります。また、鉄道工事をはじめとする当社得意分野において防災関連技術の開発を推し進める他、生物多様性に対応した環境配慮設計等の社会的要請の高い分野での研究開発に注力する等、建設周辺分野の育成にも努めてまいります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当する事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当する事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	23,371	13,526
受取手形・完成工事未収入金等	66,185	86,455
未成工事支出金	19,448	14,586
不動産事業支出金	2,262	2,209
販売用不動産	2,550	3,004
材料貯蔵品	89	84
繰延税金資産	2,946	3,002
その他	6,288	7,773
貸倒引当金	△1,136	△1,329
流動資産合計	122,007	129,312
固定資産		
有形固定資産	13,869	14,131
無形固定資産	323	351
投資その他の資産		
投資有価証券	13,255	14,182
長期貸付金	302	1,048
繰延税金資産	1,058	717
その他	3,430	3,756
貸倒引当金	△235	△608
投資その他の資産合計	17,810	19,097
固定資産合計	32,003	33,580
資産合計	154,010	162,893
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	73,905	84,296
短期借入金	7,093	9,092
未払法人税等	234	261
未成工事受入金	21,260	23,748
完成工事補償引当金	985	1,395
工事損失引当金	647	462
賞与引当金	634	1,231
預り金	8,945	5,936
その他	1,224	2,321
流動負債合計	114,932	128,747
固定負債		
長期借入金	4,539	4,633
退職給付引当金	453	1,195
その他	503	379
固定負債合計	5,496	6,209
負債合計	120,428	134,956

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,354	16,354
資本剰余金	3,893	3,893
利益剰余金	13,294	7,203
自己株式	△38	△37
株主資本合計	33,504	27,413
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	48	509
為替換算調整勘定	△24	△24
評価・換算差額等合計	24	485
少数株主持分	52	37
純資産合計	33,582	27,936
負債純資産合計	154,010	162,893

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高		
完成工事高	157,578	165,423
不動産事業売上高	2,793	2,257
売上高合計	160,371	167,681
売上原価		
完成工事原価	146,354	152,242
不動産事業売上原価	2,501	1,509
売上原価合計	148,855	153,752
売上総利益		
完成工事総利益	11,223	13,180
不動産事業総利益	292	747
売上総利益合計	11,515	13,928
販売費及び一般管理費	8,490	8,237
営業利益	3,025	5,691
営業外収益		
受取利息	12	12
受取配当金	125	279
持分法による投資利益	29	42
その他	118	65
営業外収益合計	285	400
営業外費用		
支払利息	251	107
コミットメントフィー	—	85
その他	270	109
営業外費用合計	521	302
経常利益	2,789	5,789
特別利益		
貸倒引当金戻入額	694	817
関係会社株式売却益	—	25
受取遅延損害金	—	375
特別利益合計	694	1,217
特別損失		
投資有価証券評価損	—	25
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	48
特別損失合計	—	73
税金等調整前四半期純利益	3,483	6,933
法人税、住民税及び事業税	120	170
法人税等調整額	837	15
法人税等合計	958	185
少数株主損益調整前四半期純利益	—	6,747
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1	15
四半期純利益	2,526	6,732

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高		
完成工事高	57,511	59,307
不動産事業売上高	2,043	440
売上高合計	59,554	59,747
売上原価		
完成工事原価	53,122	54,412
不動産事業売上原価	2,025	294
売上原価合計	55,147	54,707
売上総利益		
完成工事総利益	4,389	4,895
不動産事業総利益	17	145
売上総利益合計	4,406	5,040
販売費及び一般管理費	2,569	2,710
営業利益	1,837	2,329
営業外収益		
受取利息	6	1
受取配当金	48	47
還付消費税等	47	—
持分法による投資利益	10	30
その他	42	37
営業外収益合計	155	116
営業外費用		
支払利息	94	38
コミットメントフィー	—	23
その他	70	29
営業外費用合計	165	91
経常利益	1,827	2,353
特別利益		
貸倒引当金戻入額	185	70
特別利益合計	185	70
特別損失		
投資有価証券評価損	—	1
特別損失合計	—	1
税金等調整前四半期純利益	2,013	2,422
法人税、住民税及び事業税	42	92
法人税等調整額	853	△22
法人税等合計	895	70
少数株主損益調整前四半期純利益	—	2,352
少数株主損失(△)	△0	△0
四半期純利益	1,118	2,353

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,483	6,933
減価償却費	366	346
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△345	△564
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△1,153	△742
受取利息及び受取配当金	△138	△292
支払利息	251	107
持分法による投資損益 (△は益)	△29	△42
売上債権の増減額 (△は増加)	13,314	20,269
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△8,644	△4,862
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,168	396
未収入金の増減額 (△は増加)	577	147
立替金の増減額 (△は増加)	13,076	1,274
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	1,361	330
仕入債務の増減額 (△は減少)	△8,430	△10,391
未払金の増減額 (△は減少)	△870	△1,355
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	7,187	△2,488
預り金の増減額 (△は減少)	△1,069	3,008
その他	15	△18
小計	16,785	12,056
利息及び配当金の受取額	182	159
利息の支払額	△259	△115
法人税等の支払額	△232	△160
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,476	11,939
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△170	△264
投資有価証券の取得による支出	△27	△232
投資有価証券の売却による収入	—	51
関係会社株式の売却による収入	—	525
長期貸付金の回収による収入	—	677
その他	0	24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△198	780
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△16,465	△2,000
長期借入れによる収入	500	—
長期借入金の返済による支出	△74	△92
配当金の支払額	—	△640
リース債務の返済による支出	△52	△59
その他	7	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,084	△2,791
現金及び現金同等物に係る換算差額	△50	△83
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	142	9,845
現金及び現金同等物の期首残高	12,805	13,526
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,948	23,371

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当する事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当する事項はありません。

4. 補足情報

(1) 個別受注の概況(建設事業)

① 個別受注実績

	受注高	
	百万円	%
平成23年3月期第3四半期累計期間	120,165	△10.8
平成22年3月期第3四半期累計期間	134,712	△30.9

(注) %表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

(参考) 受注実績内訳

(単位: 百万円)

区	分	平成22年3月期 第3四半期累計期間	平成23年3月期 第3四半期累計期間	比較増減	増減率
建 築	国内官公庁	957(0.7%)	13,531(11.3%)	12,573	—%
	国内民間	93,183(69.2)	82,725(68.8)	△10,458	△11.2
	海外	778(0.6)	3,628(3.0)	2,850	366.4
	計	94,919(70.5)	99,885(83.1)	4,966	5.2
土 木	国内官公庁	12,125(9.0)	8,220(6.8)	△3,904	△32.2
	国内民間	14,777(11.0)	13,748(11.5)	△1,029	△7.0
	海外	12,890(9.5)	※△1,688(△1.4)	△14,579	△113.1
	計	39,793(29.5)	20,279(16.9)	△19,513	△49.0
合 計	国内官公庁	13,083(9.7)	21,751(18.1)	8,668	66.3
	国内民間	107,961(80.2)	96,473(80.3)	△11,487	△10.6
	海外	13,668(10.1)	1,940(1.6)	△11,728	△85.8
	計	134,712(100.0)	120,165(100.0)	△14,547	△10.8

(注) 1 ()内の%表示は、構成比率を示しております。

2 ※が△(マイナス)となっているのは、前期以前の契約について変更があったことによるものであります。

② 個別受注予想

	通期	
	百万円	%
平成23年3月期予想	210,000	△2.0
平成22年3月期実績	214,282	△22.6

(注) %表示は、対前期増減率を示しております。

[個別受注実績及び個別受注予想に関する定性的情報等]

個別受注実績につきましては、前年同四半期に比べて、建築工事が5.2%増、土木工事が49.0%減、全体としては10.8%減の120,165百万円となりました。

通期の個別受注予想につきましては、平成22年11月8日に公表いたしました予想数値から変更はありません。

(2) その他

当社は、当社を構成員に含む共同企業体がフィリピン共和国において施工した工事について、当初参画予定者として名を連ね、その後共同企業体を脱退した BF CORPORATION から、脱退による同社の逸失利益等の損害賠償請求訴訟を提起され係争中でありましたが、平成23年1月20日付で同国の地方裁判所から、損害賠償額132百万フィリピンペソ及びそれに附帯する法定利息並びに弁護士費用の支払を命じる判決を受けました(判決日時点における邦貨換算相当額約553百万円)。これに対し当社は、当該判決を不服として同国の控訴裁判所へ控訴しております。

今後も引き続き当社は、同社との間で合意した契約が存在せず、よって契約不履行による損害賠償履行義務は認められないとして主張、反論を行ってまいります。